

思春期自閉症児の「問題行動」

発達の理解と教育的対応

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
対人援助学領域
発達・福祉臨床クラスター

発達障害児を対象にした養護学校において、自閉症児や広範性発達障害の児童・生徒の比率が高くなり、これらの生徒に対する教育内容と方法の創造が大きな課題になってきている。特に養護学校中学部には、思春期年齢であることとも関わって、「問題行動」を起こす事例が多く在籍している。本研究では、攻撃行動を中心とする「問題行動」を頻発していた中学部 1 年生の A 児を取り上げ、1 年間（2003.4～2004.3）に出現した「問題行動」の分析をおこない、「問題行動」の発達の理解と教育的対応の問題について検討した。

「問題行動」の分析結果は以下の通りである。

「問題行動」は、a. 攻撃行動、b. からかい行動・ふざけ、c. 性的行動、d. 強迫的・儀式的行動、e. 閉じこもり、f. その他、の機能を持っている。中でも、攻撃行動の比率が「問題行動」の 40% と一番高い。攻撃行動は人に対する攻撃行動と物に対する破壊行動に分けられた。人に対する攻撃行動の目的は、自分のしたいことを止められたことに対する抵抗や抗議、苦手なことを指示されたときの拒否、自分を認めてほしいという自我の要求、人への拒否・恐怖・不安、友だちへの行動修正要求、物への要求や「～してほしい」という要求であった。物に対する破壊行動は、先の目的の他に、イライラした気分・興奮状態の持続状態が要因としてあった。次に多いのは、からかい行動・ふざけである。これは指導者や友だちに対して遊びの感覚で関わり人間関係をつくっている積極的側面と、これらの行為をして課題や緊張状況を避け、不安な気分や緊張を解消するための調整的な行動・拒否や抵抗を示している行動の 2 側面があった。A の場合、性的行動には身体的な理由だけでなく、気分の変動や情緒的不安を解消するための役割もあると考えられた。「問題行動」が出現しやすいのは、時間待ちや移動・休憩時間である。しかし、休憩時間に直接の要因がある場合は少なく、その直前の時間の学習内容や失敗経験などが影響していることが推察された。特定の数名の対象者に、その相手に対応した特定の「問題行動」機能を持っていることが明らかになった。

次に、発達診断の結果と「問題行動」の発達の把握の問題をまとめた。

下部連関の発達は、2 次元可逆操作獲得期、基本連関の発達は、2 次元可逆操作期、上部連関においては、第 1 の発達段階から第 2 の発達段階への移行期、すなわち 2 次元形成期後期、内部連関の発達においても、2 次元形成期後期にあると診断した。上部連関の発達では、大小などの 2 次元の対比的な関係概念は獲得されつつあるが、2 次元の記憶課題や構文理解の課題に不十分さを持っていた。これらのことは、他者の「こころを読む能力」の獲得の未達成と関係が深い。内部連関の問題では、「～シタラアカン」と言いながらしてしまう段階で、抑制的な行動調整機能は十分でないと考えられた。全体として、場所

や人、課題に対してパターンの行動や思考を形成しやすい特徴を持っている。「問題行動」の分析を通して、Aの「問題行動」の中には、自分なりの見通しやつもり、自己主張や自我要求、不安な時の他者へのからかい・ふざけ、人によって態度を変えることなど、2次元形成期後期の社会性と自我の発達の現れを確かめることができた。

「問題行動」に対する指導については、文脈理解の力や他者の「こころを読む能力」をつけるための長期的な展望をもつ教育指導とともに、実際的な対処としては、Aの気持ちを察して行動を予測し、行動を事前に防止すること、起こしてしまった場合は、叱責・叱正ではなく本人にわかるような具体的な方法を持って指導することが大切である。

自閉症児に対する教育的対応については、第1に、人との交流の中で、対人的な安心感や情緒的な安定を築くこと。第2に、教育内容は、子どもの主体性や内的動機に基づいて、子どもの側から構想すること。第3には、そうした内容が、自閉症児の人や環境に対する過敏性などの障害特徴に充分配慮して具体化されることが重要である。さらに、自閉症児童・生徒の発達・障害・生活実態を把握し、ていねいに子どもを理解することが求められる。それらの前提のもとで、諸科学の成果に学びながら、様々な方法も教育的な観点を持って適切にとりいれられるべきである。

思春期自閉症児の教育は、上記3点の観点に基づいて、ことばや数の認識に視点をあてた再教育を含む教科的学習、想像的世界を拡げ楽しむための「ことば・国語」、労働的な視点を持った手工・技術の教育、表現・芸術の教育、思春期・青年期独自の課題である性教育、身体のコントロールと健康な身体作りのための体育的なとりくみなどが必要である。

【key words】思春期自閉症、「問題行動」、自閉症児の発達、2次元形成期、自己意識と他者との関係、教育的対応